

## ◆ 会員紹介 1

### 一般社団法人 未来のまち・交通・鉄道を構想するプラットフォーム

当プラットフォームは、鉄道建設技術者が核となっていますが、基本はワークショップにより、自ら考え互いに議論することをモットーに活動しています。また、産学官の若手の交流を重要なテーマにしています。名称は、鉄道を考える前に交通を考える、交通を考える前にまちを考える、大局的に考えることから始めて、鉄道計画に至るといった流れを表しています。

#### 【設立趣意】

##### ◇ 我が国をとりまく背景や課題

社会資本への充足感や公共事業への批判から、真に必要なプロジェクトへの熱意が低下している。また情報化・国際化に対応する未来の社会資本整備について、そのあり方を原点から見直す必要がある。世界を見ると、環境に対する意識が強まる中、公共交通を中心としたまちづくりへの機運が高まっている。一方、基幹的な交通網が整備されている我が国では、長期的な視点でのプロジェクト議論が停滞している。加えて、技術の過程がブラックボックス化し過度なアウトソーシングが進行し、若者の物づくり離れ、技術離れが進行している。

##### ◇ これらさまざまな課題を解決するために

産官学、現職OBといった壁を越えて情報と技術の交流ができる場『プラットフォーム』を構築し、関係各界の有識者が自由に集まりワークショップを行うなど、将来のまち・交通・鉄道プロジェクトをめざして活発な議論を行うとともに、その実施を担うことができる第一線設技術者の技術継承事業などを行う。

#### 【実施している主な事業】

##### ◇ 都市計画・交通インフラ整備に関する議論、調査研究

昨年度は、上野駅周辺整備構想をテーマにワークショップ（WS）を実施。

##### ◇ シンポジウム、フォーラム、講習会、見学会等の開催

昨年度は、森地教授（これからの交通インフラへの展望）や山本会長（大震災からの3年間これからの土木・工学を考える）の講演の他、JR東日本熊本執行役員（東日本大震災によるJR東日本の被害と復旧・復興）の講演会を実施。

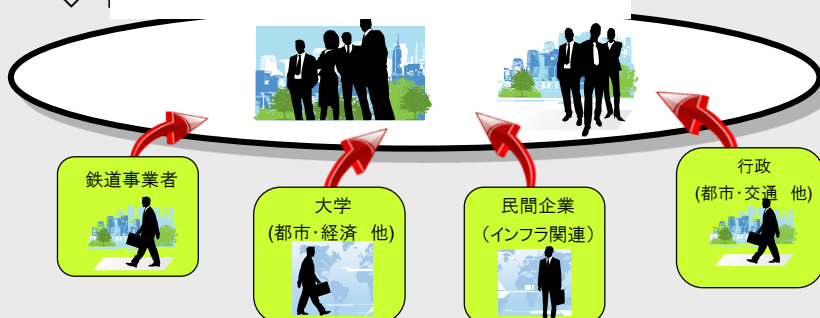
##### ◇ 都市・交通・鉄道技術者を育成する研修

昨年度は、首都圏鉄道20年ビジョンと橋本駅改良施工計画の2テーマでWS研修を実施。

##### ◇ その他、海外鉄道プロジェクトへの理解を深める研修や技術交流に関する情報発信

昨年度から会報「プラットフォーム通信」を発行。また国際比較データWSを立ちあげ、会員から情報提供を受ける。またPF通信の毎号に国際比較データ2~3例を紹介。

##### ◇ 情報と技術の交流ができる場



#### 【理事等】

会長：山本卓朗

理事：只腰憲久（首都高速道路）

田中滋夫（都市デザイン）

溝畑靖雄（ジェイアール東日本コンサルタンツ）

森地 茂（政策研究大学院大学）

矢島 隆（計量計画研究所）

斉藤 親（東日本旅客鉄道）

金澤 博（大成建設）

土井博己（ジェイアール東日本コンサルタンツ）

幹事：菊田 旭（鉄建建設）

連絡先：未来構想 PF 事務局 土井 メール：info@miraikoso.or.jp  
〒100-6005 東京都千代田区霞が関 3-2-5 霞が関ビル 5F-28